

2018 年 4 月 26 日

ルネサス エレクトロニクス株式会社の株式売却について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、ルネサス エレクトロニクス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長兼 CEO 呉文精、以下「ルネサス エレクトロニクス」）の株式売出しにおいて、INCJ が保有するルネサス エレクトロニクス株式 203,359,600 株を売却しましたのでお知らせいたします。同株式売却によって、INCJ のルネサス エレクトロニクスの保有株式の比率は、45.6%から 33.4%となりました。

【ルネサス エレクトロニクス株式会社について】

ルネサス エレクトロニクスは、NEC エレクトロニクス株式会社と株式会社ルネサス テクノロジーの事業統合により 2010 年 4 月に発足した半導体サプライヤーです。自動車、産業などの分野に対して、世界トップシェアのマイコンに加え、アナログ&パワーデバイス、SoC などの各種半導体と幅広いソリューションをグローバルに提供しています。人々が安心・安全に暮らせる社会を実現するために、半導体ソリューションの提供を通じて、あらゆるモノとモノをつないでインテリジェント化し、組み込み機器の進化に貢献しています。ルネサス エレクトロニクスは日本（東京都江東区）に本社を置き、約 20,000 人の従業員を有しています。

詳細は、<https://www.renesas.com> をご覧ください。

【株式会社産業革新機構（INCJ）について】

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電話：03-5218-7202 [URL:http://www.incj.co.jp/](http://www.incj.co.jp/)

【別紙】

1. 対象事業会社

ルネサス エレクトロニクス株式会社

- ・ 設 立 : 2002 年 11 月 1 日 (営業開始日 2010 年 4 月 1 日)
- ・ 代表者 : 呉 文精
- ・ 所在地 : 東京都江東区
- ・ 事業内容 : 各種半導体に関する研究、開発、設計、製造、販売およびサービス

2. 支援決定概要

- ・ 支援決定公表日 : 2012 年 12 月
- ・ 支援決定金額 : 1,500 億円 (上限)
 - * 将来更なる成長資金が必要となった場合は、追加で 500 億円を上限として出資又は融資を行う用意
- ・ 実投資額 : 1,383.5 億円
- ・ 投資実行時の共同投資家/コンソーシアム :
 - トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、株式会社ケーヒン、株式会社デンソー、
 - キヤノン株式会社、株式会社ニコン、パナソニック株式会社、株式会社安川電機
- ・ 株式保有割合 : 69.2% (投資実行時)
 - <https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1417688372.01.pdf>
- ・ 投資ストラクチャー図 :
 - <https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1430983409.02.pdf>

(参考①) 株式の一部売却 (2017 年) 公表日 : 2017 年 6 月 20 日

<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1497921657.03.pdf>

(参考②) 株式の一部売却 (2018 年) 公表日 : 2018 年 3 月 9 日

https://www.incj.co.jp/news/PressRelease_INCJ_Renesas_20180309.pdf

3. 経緯

(1) 出資の経緯

ルネサス エレクトロニクスの製品の中核をなすマイコン製品は、我が国の産業を足元から広範に支えるものであり、特に車載用マイコン製品は、自動車産業との協同により集積された高度な技術とノウハウが高く評価され、グローバルトップシェアを堅持していました。一方、ルネサス エレクトロニクスは、同時に、変化の激しい半導体業界を生き抜くための強じんな収益構造の構築が求められていました。

2012 年 12 月、INCJ とコンソーシアム 8 社は、ルネサス エレクトロニクスの構造改革、成長投資の推進を目的として総額 1,500 億円の出資を決定しました。INCJ は、ルネサス エレクトロニクスが、その事業を安定的に運営し、将来にわたって優れた製品を供給し続けることが、半導体業界のみならず関連業界全体における新事業や新製品の創造に寄与するものと判断し、

翌 2013 年 9 月に 1,383.5 億円の投資を実行しました。

（２）事業の進捗

その後、ルネサス エレクトロニクスは、生産・事業・人員施策を含む構造改革の着実な実行により、確実に利益を出せる体質に変革を遂げました。

（３）今回の株式売却の経緯・内容

2017 年 6 月に保有するルネサス エレクトロニクスの株式 317,688,800 株を、株式売出しにおいて売却したことを公表しました。また、2018 年 3 月には、株式会社デンソーに 75,026,425 株を売却し、今回、株式売出しにおいて、203,359,600 株を売却しました。今回の株式売却によって、INCJ の保有株式の比率は、45.6%から 33.4%となりました。

4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見

引き続き保有する株式の譲渡その他の処分においても、我が国半導体産業全体のあるべき姿を念頭に、処分方法を検討し、また、経済産業省との緊密な連携を継続されたい。

以上